

私の将来の夢

筑波大学附属小学校三年 丸田 穂佳

私の将来の夢は、推理小説家になることだ。推理小説家になりたいと思うのは、江戸川乱歩さんが書いた『怪人二十面相』のシリーズを読んだからだ。人が一しゅんで消えてしまったり、空中を歩いたり、とにかく不思議なトリックがたくさんでていて、時間を忘れて夢中になって読んでしまった。シリーズ二十六かんをすべて読み終えてしまい、つづきが読みたくても読めないことが悲しかった。その時「二十七かんを自分で書くしかない。」と思ったことがきっかけだ。

私は年長のときから日記を書いているので文章を書くのが好きだ。だから小説を書くのも得意だと思いい、将来は推理小説家になりたいとお母さんに言ったら「推理小説を書くには文章を書くことが好きだけではダメでしょ。色々な知識やひらめきが必要じゃないかな。」と言われた。たしかに、人が簡単に思いつくことを小説に書いても面白くない。文章を

書くための国語力だけでなく、算数や理科や社会といったたくさんの知識がないと、人が思いつかないトリックを考え出すことはできないと思う。

だから私は、学校の授業でたくさんのことを勉強して、知識をたくわえたい。そして大学で心理学部に入り、人の心を学んで、あつと言わせるトリックを考えたい。また推理小説だけでなく、たくさん本を片っぱしからぜんぶ読んで、文章の書き方を学びたい。日本だけでなく、世界の本も読みたい。そのために英語も学び、本を買うお金もためたい。

そして、どんなことよりも、人が無理だと思うことやできないと思うことも、何か工夫をすればできるのではないかと考えることをしていきたい。

そうすればきっと二十七かんを書くことができるはずだと思ふ。

丸田 穂佳 のライフプラン
 将来なにになりたいか? 推理小説家
 その理由: 江戸川乱歩にあがっていてあといわせるトリックのきれいな推理小説を書きたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	9(小3)	たくさん本を読む	本代
2019年	10(小4)	作文を書く	はんぽ代
2020年	11(小5)	作品をあげする	
2021年	12(小6)	じゅけんをする	じゅけん代
2022年	13(中1)	国立中学入学 すいえい部(たいてい)←作り	じゅけん代
2023年	14(中2)		
2024年	15(中3)	じゅけんをする	じゅけん代
2025年	16(高1)	国立高校入学 心理学部	
2026年	17(高2)		
2027年	18(高3)	じゅけんをする	じゅけん代
2028年	19(大1)	国立大学入学 心理学部 → 人の心を知る	
2029年	20(大2)		
2030年	21(大3)	推理小説を書く	
2031年	22(大4)		
2032年	23		リョウカ代
2033年	24		リョウカ代
2034年	25	江戸川乱歩の におうぼをする	リョウカ代